

事務事業名		栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生涯スポーツの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15054	一般	10	5	1	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事业		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進委員規則		実施方法		直営
								事業分類		参画事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
							市長マニフェスト		3-14		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
佐野市スポーツ推進委員協議会が栃木県体育指導委員協議会に参画することによって、他市町スポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修ができることを目的とする。		(市の支援) 負担金支払い (団体の活動) 各種研修会・会議に出席					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
栃木県スポーツ推進委員協議会関係事業出席回数		回	2	4	4	6	6

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

スポーツ推進委員		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		スポーツ推進委員数	人	36	36	34	34	30

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

県協議会に参加することで他市町の体指と交流が持て、体指としての意識の高揚につながる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		県協議会関係事業に参加した委員数(延べ)	人	14	28	42	43	45

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

高度な指導力を身につける		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		生涯スポーツ関係公認資格取得者数	人	—	116	96	110	130

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	72	72	68	68	68	
	事業費計(A)	千円	72	72	68	68	68	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	72	負担金	72	負担金	68
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100		
人件費計(B)	千円	389	394	389	384	384		
トータルコスト(A)+(B)	千円	461	466	457	452	452		

事務事業名	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	--------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	事業開始年度不明。栃木県体育指導委員協議会(現栃木県スポーツ推進委員協議会)の設立に伴い開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	県内におけるスポーツ推進委員数の減少
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	栃木県スポーツ推進委員協議会に参加することにより、市民のスポーツ活動を支援する指導者の育成が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	スポーツ基本法により各自治体にスポーツ推進委員を置くことになっており、また、スポーツ推進委員は市の非常勤特別職として位置づけられているため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	スポーツ推進委員が栃木県スポーツ推進委員協議会に参加することにより、指導者の育成が図られるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	栃木県スポーツ推進委員協議会に参加する費用のため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県協議会への負担金であり、すでに県で決められた金額であるので、スポーツ推進委員の人数が減らない限り、削減する余地はない。また併せて、最低限の人員で事務を執行しているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	研修会に参加し、情報収集を図るのは個人の自発的な研修との意味合いが強いと思われる。がその反面、スポーツ推進委員は市が委嘱している非常勤特別職であるため、研修の場を提供するのも行政の役割の一つと思うので、受益者負担はなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	上位団体である県スポーツ推進委員協議会主催の研修会に参加し、情報を収集する機会にも恵まれており、そのことにより各自の自己啓発にもつながる折角の機会でもあるので、この事業は休止もしくは廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					